

国鉄関連法案粉碎

「死に体」中曾根も 今こそうち倒せ！

日動労千葉

86. 5. 26

No. 2249

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

五月二二日、千葉市公園体育館において、社会党「赤桐操の圧勝と中曾根政治の総決算をめざす県民集会」が開かれ動労千葉は一五〇名が参加した。国会は二二日、閉幕、衆議院解散―衆参ダブル選挙へと動き出した。国鉄「分割・民営化」関連九法案のうち「六一年度緊急特別措置法案」が成立し、残る八法案は継続審議となり選挙明けの臨時国会で審議されようとしている。今次選挙闘争に勝利し、十万人首切りを行う国鉄関連法案を許さないためにも、全力で取り組むことが重要である。

反動中曾根内閣打倒！

中曾根は天皇をかつぎ出し、そのうえで東京で世界戦争会議を成功させ政局を乗り切り、一気に衆参ダブル選挙、そして国鉄法案強行―三選へと突き進む、とした中曾根反動プランは、余りにも網渡り的であるが故に、「天皇―サミット」の失敗、円高問題、ねん糸工汚職などで危機にたたきこまれ「死に体内閣」ともいわれながら、集中する批判をけつて衆参ダブル選挙強行にうって出ようとしている。

そもそも中曾根の「戦後政治の総決算」とは戦後の民主主義的な物の考え方、反戦・平和、権利意識というものを根こそぎ奪いと、憲法を改悪して戦争のできる国家体制をつくりあげようというものであって、そのために戦犯天皇をかつぎ出し、世界戦争会議を多くの反対の声を戒厳令的弾圧をもって強行したのだ。

首切り国鉄法案粉碎！

中曾根内閣と国鉄当局は、国鉄「分割・民営化」九法案を今国会に提出、審議が開始され、二一日「緊急特別措置法」が可決、成立された。この「特別措置法」とは、職員の希望退職を進めるため六二年四月までに募る希望退職者の上のせ退職金を支給する、というもので、僅かばかりの退職金の上のせをエサに十万人首切りの突破口として二万人を国鉄から追出すそうとする法律なのだ。

さらに、継続審議される法案とは、運輸大臣に十万人首切りの決定権をもたす

「国鉄改革法案」、営利のみ追求する企業体にする「旅客・貨物会社法案」、膨大な国鉄資産を大資本に安く売り払うことが出来るようにする「国鉄清算事業団法案」、文字通り首切り法案である「再就職促進特別措置法案」、分割・民営化に関連する百五十一本もの法律を有無をいわず一括処理してしまおうという「国鉄改革法等施行法案」、それに「新幹線保有機構法案」や、二〇兆円ともいわれる整備新幹線五線建設を強行するなどの「法案」を決めようというものだ。

全力で取り組もう

選挙明けの臨時国会は、まさに国鉄国会としてある。反動中曾根内閣打倒へ、今次選挙闘争を全組合員の総力を持って闘い抜こう。

夏季手当を申し入れ

動労千葉は、五月二〇日、動労千葉「第三〇号」で八六年度夏季手当の支払うについて、次の通り申し入れを行った。

申し入れ

- 一、職員および準職員については、支払い日現在の基準内賃金の二・五ヶ月を支払うこと。
- 二、休職、停職、減給中の職員であっても、他の職員と同様に支払うこと。
- 三、臨時雇用員については、支払い日現在の賃金六五五分を支払うこと。
- 四、上記支払い日は、八六年六月十四日とする。